



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和元年 4月18日(木)・23日(火)・24日(水)  
木の香るみちづくり 秋田自動車道・春の植栽 編

八郎湖サービスエリア(SA)と太平山パーキングエリア(PA)への秋田スギ製ハニカムプランターの設置は平成28年、秋田自動車道秋田南・横手インターチェンジ間開通25周年記念事業のひとつとして始まりました。冬期は屋内に保管しているとはいえ、3年が経過し、退色が目立ってきたことから、昨冬から植栽前の再塗装を検討してきました。

4月18日午後1時半、注文していた塗料が入荷したことから1回目の塗装を行いました。予めNEXCO東日本秋田管理事務所の平澤さんがきれいに水洗いして良く乾かして下さっていましたが、思っていた以上に白っぽい箇所が目立ちます。サッと塗っても塗料が染み込んでいくので、みな休憩無しで頑張りましたが、4時近くまで作業が続きました。

週末を挟んだ4日後の午後一番、2回目の塗装です。乾いた状態で見ると、塗装前後では色が全く異なることがわかります。1度目に比べると塗料ののりが良く、前回より30分ほど早く作業が終わりました。2日とも気持ちよい風の吹く塗装日和で乾燥も十分でしたので、設置が楽しみです。

翌日も天気予報通りの好天の中、108鉢と4プランターへ植栽です。花まり代表の中川まり子さんとスタッフの方に教えていただきながら、秋田管理事務所の方々6人と作業しました。1鉢の中に植える苗ポット3~4個が予めまとめられていたので、2時間余りで作業を終えることができました。

その年の天候や苗の種類によって生育状況が異なるのが管理の難しいところで、毎年工夫を重ねています。今年はより管理しやすく、きれいな状態を長持ちさせるため、成長力旺盛なつる性植物の寄せ植え鉢と青・黄・赤の3色ごとの花鉢に分けてみることにしました。これから雨の予報ですが、27日のイベントに間に合うよう明日、設置が行われます。

秋田のネクスコのみなさんならではのおもてなし空間に、たくさんの「あらすテキ！」の聲が届くと良いですね。

文： 渡辺 千明



1回目の再塗装をいつするかが木材の耐久性を大きく左右します。木口や底、足元など水がかかり易いところは特に念入りに塗装します(上)。塗装効果を上げるには2度塗りが必要です。みなさんの頑張りで新品同様の色に仕上がりました(下)。



予めまとまっているグリーンと花苗(上)をポットから出し、鉢に底石・培養土を入れて形よく配置して植えれば完成です(下)。



今年は種類の異なる同系色の花でまとめています。高さのあるハニカムプランター映えるよう夏過ぎまで次々と咲いてこんもり茂る花と、下に伸びるつる性のものを組みあわせです。日差しや乾燥に強く、手入れが少なく済む品種を例年通り選んでいます。